<自己を見つめるカ> 自己理解・自己管理能力

□自分を見つめよう!

書く時期としては、4月~5月がよいでしょう。特に、 2については、1年間の自分の目標にもなる内容です。

6年生: 令和 年 月 日()①

□ 1 自分のよいところを書きましょう。また、得意なこと・苦手なことを書きましょう。

自分のよいところは、こんなところ!

自分のよさを積極的に見つけられるようになることが大事です。自分を肯定的にとらえる態度を身に付けさせることが大切です。

学校の活動では?
◇得意☆
◆苦手⇨

教科は? …特に、どんな内容?

◇得意⇨

◆苦手⇨

自分のことを分かりかけて きています。他の人の意見 を聞いて、自分のよさに気 付いたり伸ばそうとしてい ます。

お家では

◇得意⇨

そのようなことを考慮しながら、学校生活、家庭での 生活などの具体的な場面を 思い浮かべさせて書かせる ようにします。

◆苦手⇨

② 2 この1年間で、がんばりたい(できるようになりたい)ことは何ですか?

がんばりたい(できるようになりたい)

継続して取り組めることと、確実に成長が実感できる内容がよいでしょう。取組むことで自分に自信を持たせることが大切になります。「できた」 「頑張れた」と思えることが大切です。

そのことがで*きるようになるためには、<u>どんな努力が必要か</u> な?*

発見♡ふるさと

地域の中から、好きな場所・人・ ものを書きましょう。

🕯 3 🏿 将 来の自分の夢や目標は何だろう。

将来どんな仕事をしたい(してみたい)ですか?

将来の夢を書けない児童がいるかもしれません。上の「得意なこと」から導いてあげると書けるかもしれません。また、自分の好きなことから、職業の裾野を広げてあげるような働きかけも有効です。

(例)「サッカーが好きだ」という児童に対して、つ

- →・サッカーシューズを作る仕事
 - サッカーの雑誌を作る人
 - ・サッカーのユニフォームを作る人・・・・。

お家からのサイン

1ページごとに保護者から のサインをもらうことで、 児童と保護者、学校と保護者 のつながりを作ります。



なぜ、そ

くつながるカ>

人間関係形成・社会形成能力/キャリアプランニング能力

書く時期としては、夏休みが終わった9月頃がよいでしょう。

「いろいろな役割	りり」	C .	6年生:令和	年	月	日() 2
きくさんの人と	_	-					

家でしている手伝いは、

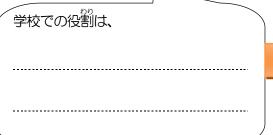
それをとおして、どんなことを感じましたか?

学級ばかりでなく、学年や学校全体の中で役割をもつようになります。また、地域とのつながりで活動する場面も出てきます。活動範囲が広がる中で、自分の役割や自分の存在意義に少しずつ気付き始めます。

さらに、周囲の人との関係の中で自分が役割等を果たしていることに気付き始めます。 人との関係の中で自分の役割をとらえさせるようにすると効果的です。

◎ 2 学級の係や仕事を書きましょう。また、それをとおして感じたことを書きましょう。

学級の係や仕事は、			<u>学級や友だちの</u> 書きましょう。	役に立	っていると感じたこと <u>を</u>
	_/) 			



学校やだれかの役に立っていると感じたこと を書きましょう。



町内や地域の活動は、

地域の活動に参加したことのない児童には、自分が知っている活動を書いてもらうようにしましょう。 地域の活動に参加はしていないけれど、地域の活動が自分にも関係しているんだということを知ること、 そのような活動をしている人がいるということに気付くことも大切なことです。

あくしゅ いろいろな人と活動をしていますね。その中で、元気が出たできごとは何ですか?

り お家からのサイン から - 2

<動く/生かすカ> 課題対応能力

□自分の行動を 生かしていこう!



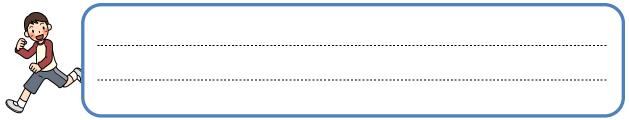
書く時期としては、様々な活動をしてきた、 2学期中頃~後半がよいでしょう。

6年生:令和 年 月) (3) 日(

A	_		
	身の周りで、	「もっとこうすればよくなる」	と考えていることを書きましょう。

①どんな場面で	②「もっと()すればよくなる」
	身近なところで考えさせるようにしましょう。できれば、自分 の行動が及ぶ範囲の方が効果的です。 ただし、他人を批判するような内容にならないよう注意が必要
	र है

🥯 2 1で書いたことを解決するためには、どのように行動すればよいか書きましょう。



毎日の生活の中で、「自分で決めて取り組んでいる」ことから、「これからも続けて いきたい」と思うことは何ですか? (勉強・生活・その他あてはまる場面をOで囲もう)

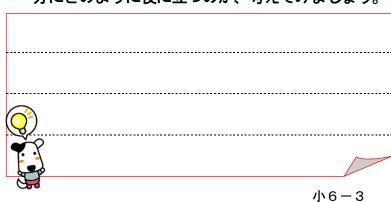
その① (勉強 ・ 生活 ・ その他) 取り組んでいること

その② (勉強 ・ 生活 ・ その他) 取り組んでいること

様々なことに取り組んでいきます。そのひとつひとつが自分を支える経験となっています。 そのようなことを考慮し、よい行いに気付いたり続けたりすることが大切です。また、今 までの経験の中で、こうすればよかったと気付くことも大切です。

様々な場面で選択して行動したりよりよい行いを考えたりすることが、判断力を高め、困 難を乗り越える力となって蓄積されていきます。

4 「続けて取り組んでいること」が、これからの自 分にどのように役に立つのか、考えてみましょう。



発見♡ふるさと

自分たちの地域で、自まんでき るもの(こと)を書きましょう。

お家からのサイン

<削り出すカ> キャリアプランニング能力 書く時期としては、学年末、自分の1年間を振り返るときに活用するとよいでしょう。

6年生:令和 年 月 日()④

□新たな一歩をふみ出そう!

□ 1 この1年間で、がんばりたい(できるようになりたい)ことは、どうなりましたか?

② 2 友だちと<u>話し合ったり、協力したり、工夫したり</u>して活動できましたか? あなたが友だちといっしょにがんばったと思うこと、自信を深めたことをしょうかいしてください。



仲間とともに活動した中で、話合いをしながらよりよいも のを作り上げたり、協力することでやり遂げたり、あるい は、仲間のよい意見に気付いたりしてうまくできた経験を 書くようにしましょう。

⑤ 3 中学生でがんばりたいと思うことは、どんなことですか?

改善したいこと、続けていきたいよかったことなど「なりたい自分」を明確にすることで、前向きに取り組む意 欲を高めるようにすることが大切です。



メッセージ

お家の方から

お家の方からは、よかったことを認めてもらう方向で書いてもらうようにしましょう。また、この部分を取り上げて、学級通信などで紹介するのも効果的です。

先生から

- 中学生に向かっていけるような視点で、 児童の頑張りを褒めます。